

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉南区企救丘二丁目13番1号

団体名 北九州高速鉄道株式会社

代表者 代表取締役社長 柴田 卓典

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	きたきゅうしゅうこうそくてつどうかぶしきがいしゃ	
団体名	北九州高速鉄道株式会社	
(ふりがな)	しばた たかのり	
代表者氏名	柴田 卓典	
所在地	市内事業所	北九州市小倉南区 企救丘二丁目13番1号
	主たる事業所	
事業概要	軌道法による一般運輸業（モノレール）	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	運輸業、郵便業	
従業員数（企業のみ）	101～300人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.kitakyushu-monorail.co.jp/	

連絡先







担当部署	総務部 総務課
担当者	柳瀬 勉
電話番号	093-961-0101
メールアドレス	soumu@kitakyushu-monorail.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込書（電子申請可）

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

企業名 北九州高速鉄道株式会社

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性の高いゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
				7.2	9.4	13.3			
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> パーク&ライドによる自家用車から鉄道輸送への切り替え推進を行っている 駅舎及び本社照明の一部LED化により省電力化を進めている 節電に関する周知の他、照明スイッチに節電シールを貼る事で、節電意識の向上を図っている クールビズ・ウォームビズの推進及び空調装置のセパレート化により空調の稼働率を下げている 変電所更新にあたり列車運行で生じる再生電力の更なる有効活用のため、蓄電池システムの導入に向けた検討を行っている 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	経済(2)④
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> 乗車券紙を磁気券からリサイクル可能な紙券に変更し、リサイクルを行っている ペーパレス化による紙の使用量削減を行っている ゴミ分別を徹底する事で産業廃棄物処理量の削減を行っている 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	経済(2)④
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 {サプライチェーン管理}					<ul style="list-style-type: none"> 社内で使用する備品は、市内事業者を優先して調達している 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	環境(1)②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> 社員提案制度の活性化による業務・品質改善に取り組んでいる 安全管理委員会の活性化による安全性の担保に取り組んでいる 車両のパンタグラフすり板摩耗対策について、北九州高速と共同研究を行っている 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	経済(1)ウ
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象とした全線有効の格安定期乗車券(シルバーパス)を発売している ICカード乗車券の導入により、キャッシュレス化と乗車券紙の削減を実現している 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール11	経済(1)エ
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 {労働環境整備}					<ul style="list-style-type: none"> 適法な36協定を締結し、労働基準監督署への届け出を行っている 経営会議資料等のタイムリーな全社展開により経営方針や状況について周知徹底を図っている 業務の見える化やクロスファンクショナルに取り組む、休暇を取得しやすい職場環境を構築することで有給休暇取得率100%を目指している 福岡県子育て・介護応援宣言企業に登録 育児・介護休業法に基づき、育児・介護休業規則に「子どもの看護休暇」を規定 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール3	社会(3)①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 {ジェンダー平等}					<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の方(高齢者・車イス・ベビーカー等)でも介助なしで、ご乗車いただけるようバリアフリー化を行っている 「パートタイム・有期雇用労働法」が求める同一労働・同一賃金を実施している 役割と課題、目標の明確化及びその結果に対する人事評価制度を構築し賃金にも連動している 障害者法定雇用率をクリアしている 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール10	社会(1)イ
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 {ハラスメント防止}					<ul style="list-style-type: none"> ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知している 管理職者に対するハラスメント研修を実施している ハラスメント問題について、弁護士に相談できる体制を構築している 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(1)イ
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> 社員に対して定期的に健康診断を実施している 健康診断やストレスチェック等の結果に応じて、産業医・保健師の面談指導を実施している 感染症の拡大を防止するための分散・時差出勤や特別休暇付与などの対策を実施している 社内において分煙を実施している 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報や外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> 人材育成マップを作成、階層別の育成計画を定め、階層別・分野別教育(OJTとOFF-JT)のプログラムにより人材育成を実施 技術力の継承・維持のため、暗黙知の形式化に取り組んでいる 沿線学校と連携協定を結ぶなどして、事業に携わる機会を提供している 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	社会(1)イ
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> 倫理規定に基づき社会的責任の自覚と関連法令の遵守により社会倫理に適合した行動を実践している 契約規則により反社会勢力が入札に参加できない仕組みを構築している 個人情報保護規則や情報セキュリティポリシー等を策定し社員に周知を行っている 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)ウ
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設け、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> BCP(事業継続計画)を策定している 運転事故や設備不具合に対応した訓練を実施している 消防計画に基づき、避難誘導訓練や消火器訓練を実施している 消防や警察と合同での訓練を実施している 各駅には災害時の避難先を備えている 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール11	社会(2)ア

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和4年 7月26日

団体名 北九州高速鉄道株式会社

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は2030年のSDGs 達成年に「皆が安心して暮らすことできる社会の実現」を目指しており、公共交通機関として、どのような貢献をすることができるかを考え、社員一丸となってSDGs の取り組みを推進していきます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs 未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		変電所設備のスリム化及びバッテリーボ スト化による再生電力の更なる有効活用、 ピークカットにより環境負荷低減を図る	指標 (KPI)	電力使用量	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	15%削減	具体的な取組
経済		豪雨災害時等における避難場所への輸送 及び物資の運搬手段としての役割を果たす	指標 (KPI)	災害発生時の輸送機 関としての役割	指標
社会	○		目標値		具体的な取組
環境			2030年 (その他の場合) ()年	100%対応 全線 (全駅)	社会 (2) ア
経済	○	全駅照明のLED化による省電力化を図 る	指標 (KPI)	照明LED化率	指標
社会			目標値		経済 (2) ④
環境			(その他の場合) ()年	100%完了 ※非常灯除く	具体的な取組

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野 (経済・社会・環境) の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 北九州高速鉄道株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
2 【SDGsクラブプロジェクト】 北九州のまちを美しく！プロジェクト	小倉のまちづくりを考える会の会員として、毎月まち美化清掃活動に参加しています。
19 道路サポーター制度	弊社は道路サポーター制度に登録しており、月に1回社員で道路の清掃を行っています。
8 地域コミュニティ活動への参加	グリーンバード北九州が行うモノレール沿線でのお掃除大作戦の実施協力及び社員の参加を行っております。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。